

長野県農業大学校入学者受入方針

【使命と教育方針】

長野県農業大学校は、長野県の農業の発展に寄与することを目的として、効率的かつ安定的な農業経営を担う人材及び地域の農業の振興に指導的役割を果たす人材を養成するために設置されました。

この目的を達成するために、理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識、技術を習得させるとともに、自らの目標やテーマを定めて行う模擬経営・プロジェクト学習並びに寮生活等により他者との協調・自己の確立等の社会性を涵養し、次代の農業・農村を担う優れた人材の養成を目指します。

1 総合農学科（実践経営者コース）

- (1) 明確な経営目標、経営理念と幅広く高度な知識と能力を兼ね備え、即戦力となる企業的マインドを持った農業経営者を育成します。（就農5年後に販売額で1500万円を目指す）
- (2) 人間力、経営力、生活力及び技術力を、実践的な講義、実習及び模擬経営を通じて研き習得させます。

2 総合農学科（農業経営コース）

- (1) 農業・農村におけるリーダーとしての能力や専門的知識・技術について実践を通じて体系的に習得させます。
- (2) 専攻制（作物、野菜、花き、果樹）による専門的かつ幅広い知識、技術を習得させます。
- (3) プロジェクト学習、先進的な農家研修において、農業経営の理念と実際について習得させます。
- (4) 全寮制のもとで自立性、協調性を高めます。

3 実科・研究科

- (1) 農業の担い手として必要な知識と基本技術・先端技術について、農業関係試験場を教育の場として実践的に習得させます。

【本校が求める学生像】

各科ごとに以下のとおり意欲的に学習に取り組む学生を本校は歓迎します。

1 総合農学科（実践経営者コース）

時代の変化に対応できる経営管理能力や技術力を身に付け、卒業後、長野県内に就農し、信州農業のトップランナーとなることを目指す者。

2 総合農学科（農業経営コース）

農業・農村に関する専門的かつ幅広い知識、技術を身に付け、卒業後、就農もしくは農業を支える農業関係企業等への就職を目指す者。

3 実科、研究科

農業関係試験場での実習を主体とした実践的な学習を通じて、基本技術・先端技術を身に付け、卒業後、長野県内への就農を目指す者。

【入学試験の概要】

本校の入試問題は、高等学校で基礎的な学習を積み重ね基礎学力を身に付けていれば、解答を導ける設問となっています。学科ごとの入学試験の内容については以下のとおりです。

1 総合農学科（実践経営者コース）

将来の農業経営や目指す農業者像などについて問う小論文と就農意欲を確認する面接を行います。

2 総合農学科（農業経営コース）

基礎学力を確認するため、必修科目として国語、数学、小論文を、選択科目として化学、生物、農業から1科目選択の筆記試験及び適性・学習意欲を確認するための面接を行います。

3 実科、研究科

基礎学力を確認するため、必修科目として国語、小論文を、選択科目として数学、公民、化学、生物、農業から1科目選択の筆記試験及び適性・学習意欲を確認するための面接を行います。